

令和 2 年 度

事 業 報 告 書

令和 2 年 4 月 1 日から
令和 3 年 3 月 3 1 日まで

一般財団法人 東京都営交通協力会

令和 3 年 6 月

目 次

1	はじめに	1
2	令和2年度事業報告	4
	Ⅰ 実施事業等会計	4
	1 交通道德の普及や事故防止に関する事業	4
	2 乗客サービスの増進に関する事業	5
	3 運輸事業の調査研究に関する事業	5
	4 運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業	5
	Ⅱ その他会計	6
	1 受託事業	
	(1) 駅業務	6
	(2) 定期券等発売業務	7
	(3) 駅舎・車両等清掃業務	8
	(4) 交通誘導警備業務	8
	(5) 広告掲出・媒体管理業務	9
	(6) 食堂業務	9
	2 収益事業	
	(1) 売店・自販機事業	10
	(2) 専門店舗等事業	11
	(3) 直営店舗等事業	12
	(4) 高架下等賃貸事業	13
	(5) 広告販売事業	14
	(6) 宝くじ販売事業	15
	3 共益事業	
	会報発行等事業	15
3	庶務事項	16
4	在籍人員	19

1. はじめに

(当会の事業環境)

6月初めに内閣府が発表した令和3年1～3月期の国内総生産（GDP）の改定値は、物価変動を除いた実質で、前期比1.0%減、年率換算で3.9%減と三四半期ぶりのマイナス成長となりました。

内容を見ますと、内需の柱の一つである個人消費は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の再発令による外出自粛や時短営業により、外食や宿泊などサービス関連の消費が低迷し、前期比1.5%の減となりました。また、もう一つの柱である設備投資も通信機器や自動車への投資減により1.2%のマイナスとなり、感染症拡大の影響により経済活動が大きく低迷した結果となりました。

これにより、令和2年度の第1四半期からの年次の実質GDP成長率では、前年度比4.6%減とリーマン・ショックを超える戦後最大の落ち込み幅となりました。

こうした中、長期金利の指標となる10年物の国債の利回りは、年度当初の0.018%台という低金利から、その後のアメリカの金利上昇を受け、令和3年2月下旬には一時0.175%を付けるなど約5年ぶりの高い水準となりました。しかしながら、日銀が3月に発表した長期金利の許容変動幅の拡大を含む政策点検の結果などから低下基調となり、年度末には0.104%で終わりました。

債券金利の状況は、当会の事業運営に与える影響が大きいことから、引き続き、市場の動向や日銀の動き等を注視していく必要があると考えています。

(プラン19の取組状況)

計画の最終年度にあたる令和3年度は、都営交通事業の一翼を担う法人として、当会を取り巻く事業環境や事業の現状と課題などを踏まえつつ、「安全・安心の確保」、「良質で快適なサービスの提供」、「経営基盤の強化」の3つを柱として、「協力会ならではの」取組の充実強化を図るとともに、適切な進行管理を行い、計画に掲げた目標の達成に向けて積極果敢に取り組んでまいります。

具体的には、「安全・安心の確保」として、都営三田線のホームドア改修に伴うホーム監視業務を引き続き実施するほか、バス誘導警備業務における警備業法に定める有資格者の確実な確保に努めてまいります。

次に「良質で快適なサービスの提供」として、定期券発売所にタブレット端末を配

置しサービスの向上に努めるほか、駅構内の専門店舗の退店跡地の利活用や高架下耐震補強工事後のテナント施設をオープンし、利便性の向上を図ってまいります。

また「経営基盤の強化」として、人材の確保・育成について、eラーニングなどの研修の充実を図るとともに、若手の定着率向上等を図るため、契約職員の処遇を改善いたします。

さらに、効率的な事業運営のため、不採算の売店の見直しを行うとともに、直営の船堀コンビニ店を委託化し、収支の改善を図ってまいります。

引き続き、適切な進行管理と課題解決に努め、計画に掲げた事業及び取組目標の達成に向け、会を挙げて取り組んでまいります。

(令和2年度決算の概要)

当会の会計は、平成20年会計基準を採用し、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分しています。このうち一般正味財産増減の部は、「実施事業等会計」、「その他会計」及び「法人会計」の3つの区分で経理しています。

まず、一般正味財産増減の部のうち、公益目的支出計画に基づく事業を経理する「実施事業等会計」では、都営交通事業を積極的に支援し、協力することを目的として事業を推進するべく、2億2,700万円余を支出しました。前年度に比べ400万円余減少しています。

次に、受託、収益及び共益の各事業を経理する「その他会計」についてです。

受託事業の駅業務では、契約単価の増加に伴い収入増となりました。

定期券等発売業務では、新型コロナウイルスの影響により定期券発売所の営業時間を短縮したことなどから収入減となりました。

駅舎・車両等清掃業務では、駅舎清掃及び車両清掃の契約単価増に伴い収入増となり、パート職員の時給単価の改定により支出増となりました。

広告掲出・媒体管理業務では、契約単価の増に伴う収入増、パート職員の時給単価の改定により支出増となりました。

食堂業務では、都バス有明営業所の開設に伴い収入増となりました。

次に、収益事業の売店・自販機事業では、新型コロナウイルスの影響により地下鉄利用者が減少したこと及び不採算売店を閉店したことなどにより収入、支出ともに減少となりました。

専門店舗等事業でも、地下鉄利用者の減などにより、収入、支出ともに減少となり

ました。

直営店舗等事業では、新型コロナウイルスの影響により船堀コンビニ店の売上減及びインドアテニスの1カ月休業などにより、収入、支出ともに減少となりました。

高架下等賃貸事業では、耐震補強工事後のテナント施設の再築工事の進捗に伴い、収入、支出ともに増加となりました。

広告販売事業では、パンフレットラック等の売上減などにより、収入、支出ともに減少となりました。

宝くじ販売事業では、令和2年12月に事業を終了し、収入、支出ともに減少となりました。

この結果、受託事業と収益事業に会報発行等事業を経理する共益事業を加えた「その他会計」全体の収支は、前年度比6,100万円余減の5億3,000万円余の黒字となりました。

この「その他会計」に「実施事業等会計」と基本財産等運用収入や一般管理費を経理する「法人会計」を合算した「当期経常増減額」は、3億7,300万円余の黒字となりました。

これに資産の無償譲渡を受け入れた受贈益等の経常外収益4,800万円余、耐震補強工事等に伴う固定資産除却損などによる経常外費用6,400万円余を加減算した「税引前当期一般正味財産増減額」は、3億5,700万円余の黒字となりました。

この結果、これから法人税等を控除し、税効果会計による法人税等調整額を加えた「当期一般正味財産増減額」は、1億8,800万円余の黒字となりました。

また、平成27年度から、耐震補強工事に伴う撤去施設の再築のために受領した補償金を「指定正味財産」として経理しており、「当期指定正味財産増減額」は、3億2,400万円余の黒字となりました。

当会は、今後とも都営交通事業を積極的に支援し協力していくとともに、交通局が推進するグループ経営の一員として、全職員が一丸となって、都営交通事業の一翼を担い、お客様の期待と信頼に応えながら、その使命を着実に果たしてまいります。

2. 令和2年度事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

I 実施事業等会計

(事業費 227,910 千円)

実施事業等会計では、公益目的支出計画に基づき交通道德の実践・普及及び事故防止、乗客サービスの増進などに関する事業を実施し、都営交通事業の使命達成のため、積極的に取り組みました。

1. 交通道德の普及や事故防止に関する事業 (55,672 千円)

- (1) 地下鉄・バス・都電の車内及び地下鉄駅構内、公共道路内でのマナーの普及・向上を図るため、ポスターや小学生用マナー読本の作成などを行いました。
 - ・都営バスラッピングによる交通マナーの啓発
 - ・交通マナーポスター「駆け込み防止」等(17,500枚)及び交通マナー動画(5回)の作成
 - ・小学生用マナー読本「楽しく乗ろう!都営交通」(134,000部)の作成
- (2) 交通道德、交通安全標語入りグッズ等を作成しました。
 - ・交通安全標語入り「カレンダー・タオル」(20,900本)の作成
 - ・バス車内事故防止床ばりステッカー(683枚)の作成
 - ・交通安全標語入り「みんなのスケッチブック メモ帳」(10,000部)の作成
- (3) 高齢者等の事故防止のため、自動車営業所における交通安全教室の支援を行いました。(4回)

2. 乗客サービスの増進に関する事業

(159,858 千円)

- (1) 新型コロナウイルス感染防止徹底宣言ステッカーを作成しました。
- (2) 沿線地域の活性化に寄与するため、都電荒川線サポーター(荒川バラの会等)に対する支援を行いました。
- (3) 都電沿線情報マガジン「さくらたび。」(57,000部×6回)を作成しました。
- (4) 都民の福祉向上に資するため、地下鉄各駅の構内立体図にバリアフリー施設の概要を記載した冊子「都営地下鉄バリアフリーガイド」(日本語版30,000部、英語版10,000部)を作成しました。
- (5) 学校教育への協力等を図るため、「中学生の職場体験」の支援を行いました。
- (6) 環境対策、安全対策、お客様の利便向上に資する事業などに助成しました。
 - ・バス路線PR冊子「都バス乗り隊歩き隊」(100,000部×4回)の作成
 - ・都営交通環境取組PR広報物の作成
 - ・公共交通利用促進グッズの作成
 - ・バス車内映像「みんなくると学ぼう!」の制作

3. 運輸事業の調査研究に関する事業

(9,305 千円)

都営交通の将来利用動向の概略に関する調査

4. 運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業

(3,075 千円)

運輸事業等の振興に資するため、公益法人等3団体に助成しました。

- ・日本赤十字社、交通遺児等育成基金、東京善意銀行

II その他会計（受託・収益・共益事業）

（事業収入 10,408,882 千円）

1. 受託事業

（7,239,528 千円）

受託事業では、交通局から委託を受けた地下鉄駅業務、駅舎・地下鉄及び新交通車両やバス車両の清掃業務などの実施により、都営交通の発展に寄与するとともに、お客様が安全・安心、快適に都営交通を利用していただけるよう着実な業務遂行を図りました。

（1） 駅業務

（4,025,747 千円）

地下鉄については窓口業務やお客様案内、ホーム監視などを、日暮里・舎人ライナーについては窓口業務、お客様案内に関する業務を行っています。執行体制の充実強化や人材の育成を図り、確実かつ効率的な事業運営に努めました。令和2年度の駅業務の受託駅数は前年度と変わらず60駅でした。

【受託駅】

浅草線	12 駅	馬込、中延、戸越、高輪台、三田、大門、東銀座、宝町、人形町、東日本橋、蔵前、本所吾妻橋
三田線	13 駅	内幸町、水道橋、春日、白山、千石、西巢鴨、板橋区役所前、板橋本町、志村坂上、志村三丁目、蓮根、西台、新高島平
新宿線	11 駅	新宿三丁目、曙橋、小川町、浜町、森下、菊川、西大島、東大島、船堀、一之江、篠崎
大江戸線	23 駅	東新宿、若松河田、牛込柳町、牛込神楽坂、飯田橋、本郷三丁目、蔵前、両国、森下、月島、勝どき、築地市場、赤羽橋、麻布十番、代々木、西新宿五丁目、中野坂上、東中野、中井、落合南長崎、新江古田、豊島園、練馬春日町
日暮里・舎人ライナー	1 駅	西日暮里
(計)	60 駅	

(2) 定期券等発売業務

(490,769千円)

定期券・回数券・IC（パスモ）等乗車券類の発売・払戻し、シルバーパス等福祉乗車券の取扱いのほか、案内業務、グッズ販売を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策に係る緊急事態宣言が発出され、利用者数の減少に加え、営業時間の短縮を実施したため、取扱額は前年度に比べ大幅な減少となりました。一方、テレワークや休校等の事由による遡及払戻により払戻額は激増しました。

厳しい事業環境の中、お客様ニーズを捉えた良質で快適なサービスの提供に努めました。

① 地下鉄・新交通定期券発売所

18か所

【券種別取扱額】

(単位：千円)

券種	令和2年度	令和元年度	増減	率(%)
定期券	5,739,336	9,878,901	△4,139,565	△41.9
回数券	8,164	13,876	△5,712	△41.2
一日乗車券	10,021	24,755	△14,734	△59.5
払戻し	2,051,641	1,550,834	500,807	32.3
合計	7,809,162	11,468,366	△3,659,204	△31.9

② 都バス・都電定期券発売所

13か所

【券種別取扱額】

(単位：千円)

券種	令和2年度	令和元年度	増減	率(%)
定期券	1,627,946	1,969,456	△341,510	△17.3
回数券 ※1	3,269	151,230	△147,961	△97.8
一日乗車券	5,565	7,606	△2,041	△26.8
払戻し	69,037	30,125	38,912	129.2
シルバーパス	106,866	177,951	△71,085	△39.9
シルバーパス払戻し	5,927	4,593	1,334	29.0
都営グッズ	1,818	2,164	△346	△16.0
宝くじ ※2	0	142,947	△142,947	△100.0
合計	1,820,428	2,486,072	△665,644	△26.8

※1 うち、都バス回数券は令和元年度で発売終了

※2 定期券発売所での宝くじ取り扱いは令和元年度で終了

(3) 駅舎・車両等清掃業務

(1,984,670千円)

地下鉄・新交通の駅舎清掃及び地下鉄・バス等の車両清掃を行っています。令和2年度も昨年度に引き続き、部内研修の充実化を図り、清掃機器の更新等を行うことにより、現場力の強化、駅構内及び車両の美化推進に努めました。

作業実績は、次のとおりです。

① 駅舎清掃

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
地下鉄駅舎清掃	101 駅	101 駅	0 駅	0.0
駅壁面清掃	41 駅	40 駅	1 駅	2.5
新交通駅施設清掃	13 駅	13 駅	0 駅	0.0

② 車両等清掃

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
地下鉄車両清掃	336,998 両	327,071 両	9,927 両	3.0
乗合バス車両清掃	195,141 両	194,761 両	380 両	0.2
貸切バス車両清掃	127 両	576 両	△449 両	△78.0
都電車両清掃	11,285 両	11,347 両	△62 両	△0.5
新交通車両清掃	4,110 両	2,395 両	1,715 両	71.6
庁舎清掃	2 か所	2 か所	0 か所	0.0

※車両数は延べ

(4) 交通誘導警備業務

(340,151千円)

バスターミナルやバス操車所出入口等において、運行业務の補助、都バスの適切な誘導、都バス・一般車両及び乗客・通行人等の安全確認、乗客・通行人等への都バス及び周辺の案内等を行っています。警備業法に基づく教育・指導計画を定めて実施するなど、引き続きコンプライアンスを確保するとともに、安全・確実な業務の実施、案内サービスの向上を図りました。

令和2年度の収入は、1時間当たり契約額の増額もあり、前年度よりも増加しました。

- ・ 主要バスターミナル、バス操車所出入口等…………… 17 か所

(5) 広告掲出・媒体管理業務

(354,216 千円)

都営交通の広告媒体の管理及び広告の掲出作業を行っています。掲出不備を防止するために、現場作業員の実務研修を行うなど、確実かつ効率的な掲出に努めました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う広告需要減少により、広告掲出枚数が前年度より大幅に減少しました。

作業所数及び作業実績は、次のとおりです。

- ・地下鉄広告作業 …………… 5 か所
- ・都バス広告作業 …………… 19 か所
- ・都電広告作業 …………… 1 か所
- ・新交通広告作業 …………… 1 か所
- ・広告媒体管理業務

【広告作業実績】

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率(%)
地下鉄広告掲出	511,676 枚	901,621 枚	△389,945 枚	△43.2
都バス広告掲出	148,470 枚	260,630 枚	△112,160 枚	△43.0
都電広告掲出	3,076 枚	4,004 枚	△928 枚	△23.2
新交通広告掲出	1,632 枚	2,831 枚	△1,199 枚	△42.4

(6) 食堂業務

(43,975 千円)

バス営業所、地下鉄車両基地などで食堂業務を行っています。賄い人への巡回指導などにより食中毒防止や防火管理の徹底を図り、喫食数増加に努めました。令和2年度は休止した食堂がありましたが、令和元年度末に有明自動車営業所が新設され、事業か所が増えたため、前年度に比べ増収となりました。

区 分	令和2年度	令和元年度
食堂	23 か所	23 か所
(うち、年度末休止)	2 か所	0 か所

2. 収益事業

(3, 169, 127 千円)

収益事業では、地下鉄駅構内のメルシー売店の営業、専門店舗等への施設貸付、高架下等の遊休土地を有効活用した施設貸付、駐車場貸付などを実施しています。お客様に安心・快適に利用していただけるよう着実な業務遂行を進めるとともに、増収対策や効率化の推進に積極的に取り組み、利益の確保に努めました。

(1) 売店・自販機事業

(939, 883 千円)

① 駅売店

地下鉄駅構内での乗客サービスを図るため、「メルシー売店」として新聞、雑誌、たばこ、菓子、雑貨などの販売を行っています。スマートフォンやタブレット端末などの普及による新聞・雑誌の購買者離れや喫煙人口の減少などの影響を受けるなか、地域特性にあった商品陳列など収支改善に努めました。令和2年度には、売上が少ない7売店を閉店しました。

売店数及び売上実績は、次のとおりです。

- ・メルシー売店 …………… 13 店舗 (前年度比 △7)
- ・オートメルシー …………… 28 か所 82 基 (前年度比 △1 △3)

【売店売上実績】

(単位：千円)

種 別	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
新聞	28,433	60,052	△31,619	△52.7
雑誌	28,961	55,481	△26,520	△47.8
煙草	183,582	359,299	△175,717	△48.9
菓子	40,351	104,901	△64,550	△61.5
飲料	25,595	63,514	△37,919	△59.7
雑貨	5,334	17,495	△12,161	△69.5
テレフォンカード	3	3	0	0.0
オートメルシー	58,889	78,949	△20,060	△25.4
合 計	371,148	739,694	△368,546	△49.8

② 飲料等自販機

地下鉄駅構内、バス営業所敷地内などに飲料等自販機を設置しています。

・飲料等自販機 …………… 953 基 (前年度比 +33)

種 別	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
飲料等自販機	564,336	678,466	△114,130	△16.8

(2) 専門店舗等事業

(493,635千円)

「エキナカ」空間を利用して、飲食店、パン販売店、コンビニエンスストアなどを専門業者に委託して出店しているほか、週単位・月単位で出店業者を替える催事事業及びコインロッカー・ATM等のサービス機器の設置に伴う貸付を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う地下鉄利用者減により、店舗、催事、サービス機器とも減収となりました。

専門店舗数及び売上実績は、次のとおりです。

- ・コンビニエンスストア …………… 8 店舗
- ・飲食・物販・サービス店舗 …………… 30 店舗 (前年度比 △3)
- ・催事店舗 …………… 9 か所
- ・ATM …………… 127 台 (前年度比 +6)
- ・コインロッカー (宅配便含) …………… 152 か所 (前年度比 +9)
- ・自動証明写真機 …………… 88 台 (前年度比 +3)
- ・公衆電話 …………… 136 台 (前年度比 +1)

【構内店舗等売上実績】

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
コンビニエンスストア	66,118	67,099	△981	△1.5
飲食・物販・サービス店舗	222,365	250,363	△27,998	△11.2
催事店舗	23,244	26,275	△3,031	△11.5
ATM	84,730	91,241	△6,511	△7.1
コインロッカー (宅配便含)	36,708	81,055	△44,347	△54.7
自動証明写真機	44,645	48,294	△3,649	△7.6
公衆電話	164	168	△4	△2.4
合 計	477,974	564,495	△86,521	△15.3

(3) 直営店舗等事業

(555,589 千円)

交通局の敷地を活用して店舗を営業しています。令和2年度は、直営店舗の船堀コンビニエンスストアを改修のうえ委託店舗とするため、年度末で閉店しました。また、新型コロナウイルス感染症流行により各店舗とも売り上げに大きく影響し、日比谷、本八幡駅構内の委託コンビニエンスストア2店は閉店しました。

売上実績は、次のとおりです。

【直営店舗売上】

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
船堀コンビニエンスストア	317,609	443,941	△126,332	△28.5
船堀パン店	0	43,905	△43,905	△100.0
合 計	317,609	487,846	△170,237	△34.9

※船堀パン店の令和元年度売上額は、期首から6月末閉店まで

【委託店舗等収入】

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
インドアテニスコート	175,473	203,661	△28,188	△13.8
その他店舗	62,507	58,866	3,641	6.2
合 計	237,980	262,527	△24,547	△9.4

※船堀パン店の令和元年度7月開店以降の営業収入は「その他店舗」に含む

(4) 高架下等賃貸事業

(848,644千円)

交通局資産の有効活用の一環として、遊休土地を活用した駐車場や高架下用地などに設置した店舗等の貸付を行っています。

令和2年度は、三田線高架下耐震補強工事後の施設物再築によるテナントの貸付額が増加したことにより、収入は前年度を上回りました。

また、一括貸付をしていた新河岸第一駐車場が令和2年5月で契約終了となり、一般駐車場の収入は前年度を下回りました。

店舗及び駐車場の貸付箇所数は、次のとおりです。

① 高架下等テナント (単位:千円)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減	
	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数
浅草線	31,328	10	29,503	9	1,825	1
三田線	504,543	144	456,858	147	47,685	△3
新宿線	82,643	33	83,384	32	△741	1
大江戸線	24,000	1	24,000	1	0	0
合 計	642,514	188	593,745	189	48,769	△1

② 駐車場 (単位:千円)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減	
	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数
高架下駐車場	41,020	10	42,110	10	△1,090	0
一般駐車場	128,252	41	148,350	42	△20,098	△1
合 計	169,272	51	190,460	52	△21,188	△1

(5) 広告販売事業

(319,670千円)

交通局から都営交通広告代理店として指定を受け、都営交通広告を中心に、地下鉄車内の中張りポスター、駅構内の電飾ボード・パンフレットラックなどの広告の販売を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う広告需要減少により、全般的に出稿数が減少しました。特にパンフレットラックの収入減が大きく、販売収入の前年度比は減少となりました。

広告販売実績は、次のとおりです。

【広告販売実績】

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
①地下鉄	241,486	298,031	△56,545	△19.0
中張りポスター	13,346	20,529	△7,183	△35.0
まど上ポスター	1,779	1,371	408	29.8
駅張りポスター	7,361	9,618	△2,257	△23.5
駅構内ボード	53,675	56,788	△3,113	△5.5
駅付近案内図	47,699	48,606	△907	△1.9
パンフレットラック	93,506	122,688	△29,182	△23.8
その他	24,120	38,431	△14,311	△37.2
②都バス	22,811	22,490	321	1.4
まど上ポスター	1,305	4,318	△3,013	△69.8
車体ラッピング広告	19,489	17,202	2,287	13.3
その他	2,017	970	1,047	107.9
③都電	4,945	4,653	292	6.3
まど上ポスター等	4,945	4,653	292	6.3
④新交通	5,246	5,421	△175	△3.2
パンフレットラック	2,206	2,133	73	3.4
その他	3,040	3,288	△248	△7.5
計 (①～④)	274,488	330,595	△56,107	△17.0
⑤雑収入	45,182	38,215	6,967	18.2
2次手数料	5,865	8,263	△2,398	△29.0
制作費等	39,317	29,952	9,365	31.3
合 計	319,670	368,810	△49,140	△13.3

(6) 宝くじ販売事業 (11,706 千円)

地下鉄駅構内やバスターミナルなどに宝くじ売り場を設け、ジャンボ宝くじ、スクラッチなどを販売していましたが、令和2年12月末をもって宝くじ販売事業を終了しました。

・宝くじ取り扱い店舗 …… 0 店舗 (前年度比 △6)

【宝くじ売上実績】 (単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	率 (%)
普通くじ	66,535	177,366	△110,831	△62.5
数字選択	92,105	229,184	△137,079	△59.8
合 計	158,640	406,550	△247,910	△61.0

3. 共益事業 (事業費 2,638 千円)

会報発行等事業 (2,638 千円)

協力会会員に対して、会報「協力会だより」を発行・送付しました。

3. 庶務事項

1 理事会に関する事項

令和2年4月1日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 業務執行理事の選定について
2. 本部長の人事発令について

令和2年6月9日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 理事への本部長兼務委嘱について

令和2年6月26日（第1回）

- | | |
|-----------|--|
| 第1号議案（審議） | 令和元年度事業報告について |
| 第2号議案（審議） | 令和元年度決算並びに公益目的支出計画実施報告書について |
| 第3号議案（報告） | 決算並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告について |
| 第4号議案（報告） | 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の令和2年度における取組について |
| 第5号議案（報告） | 都総務局による特別監察について |
| 第6号議案（審議） | 定時評議員会の招集について |

令和2年11月30日（報告を要しないものとされた日：報告の省略）
（第2回）

1. 令和2年度上期事業報告

令和3年2月22日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 第3回評議員会の招集について

令和3年3月25日（第3回）

- | | |
|-----------|--|
| 第1号議案（報告） | 令和3年度事業計画・収支予算案について |
| 第2号議案（報告） | 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の令和2年度における取組状況について |

令和3年3月29日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 評議員の推薦について
2. 理事及び監事の推薦について
3. 本部長の人事発令について

2 評議員会に関する事項

令和2年6月26日（第1回）

- | | |
|-----------|--|
| 第1号議案（報告） | 令和元年度事業報告について |
| 第2号議案（審議） | 令和元年度決算について |
| 第3号議案（報告） | 令和元年度公益目的支出計画実施報告書について |
| 第4号議案（報告） | 決算並びに公益目的支出計画実施報告書に関する
監査報告について |
| 第5号議案（報告） | 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の
令和2年度における取組について |
| 第6号議案（報告） | 都総務局による特別監察について |

令和2年11月30日（報告があったものとみなされた日：報告の省略）
（第2回）

1. 令和2年度上期事業報告

令和3年3月25日（第3回）

- | | |
|-----------|--|
| 第1号議案（報告） | 令和3年度事業計画・収支予算について |
| 第2号議案（報告） | 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の
令和2年度における取組状況について |

令和3年3月31日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 評議員の選任について
2. 理事及び監事の選任について

3 役員に関する事項

令和3年3月31日	相川 準	評議員	退 任
令和3年3月31日	牧野 和宏	評議員	退 任
令和3年3月31日	太田 純也	理 事	退 任
令和3年3月31日	上田 裕子	理 事	退 任
令和3年3月31日	安田 潔	監 事	退 任
令和3年4月1日	櫻庭 裕志	評議員	就 任
令和3年4月1日	神永 貴志	評議員	就 任
令和3年4月1日	木元 隆平	理 事	就 任
令和3年4月1日	平澤 哲哉	理 事	就 任
令和3年4月1日	渡邊 範久	監 事	就 任

4. 在籍人員

令和3年3月31日現在

	役員	従業員				合計
		職員	作業員	月給制 契約職員	時給制 契約職員 その他	
総務本部	人 3	人 23	人	人	人 2	人 28
ステーション本部		432		381	31	844
サービス本部	1	39	4	18	713	775
コマース本部		45	2		64	111
合計	4	539	6	399	810	1,758